

# インターンシップが高専生の就職活動に及ぼす影響

氏 名 高橋 建二

指導教員 松田 憲

## 要旨：

本研究は、高等専門学校（高専）の5年生を対象に、インターンシップ経験が就職活動に与える影響を分析することを目的として実施した。高専生は5年間の専門教育を通じて高度な技術力と実践的なスキルを身につけており、企業からの需要が高い。しかし、インターンシップが高専生の就職活動やキャリア選択にどのような影響を与えているかについては、これまで十分な研究がなされていなかった。研究方法として、高専5年生を対象としたアンケート調査を実施し、インターンシップへの参加動機、経験の質、満足度、および就労希望との関連性、またそこからの就職応募について、共分散構造分析（SEM）を用いて検証した。分析の結果、「参加動機」→「経験」→「満足度」→「就労希望」→「就職応募」という因果関係が確認された。特に、インターンシップへの参加動機が明確な学生ほど、経験の質が向上し、満足度が高まり、就労希望も強くなる傾向が明らかになった。一方で、課題も明らかになった。一部の学生は期待していた実務経験が得られなかったと感じており、インターンシッププログラムの質向上が求められている。本研究の新規性は、高専生の就職におけるインターンシップの有効性を実証的に示した点にある。これにより、企業がインターンシップを戦略的に活用することで、高専生の採用成功率を向上させる可能性があることが示唆された。本研究の成果は、高専生の採用に関する理論的理解を深めるとともに、企業の採用戦略立案に実践的な示唆を提供するものである。今後、本研究をベースとしてさらなる研究が進められることで、高専教育とキャリア形成の関係性がより明確になり、効果的な人材育成・採用戦略の構築につながることを期待される。